シラバス参照

タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	SSCS3301		
科目名	スポーツキャンプ実習Ⅲ		
担当教員	原　怜来		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	集中		
講義室		単位区分	
授業形態	実習	単位数	
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ２－Ａ〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 ＤＰ４－Ｆ〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ４－Ｉ〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 Ａ２　異文化適応（１０%） Ｆ１　探求と論拠（１０%） Ｆ２　課題解決（１０%） Ｉ２　量的分析（３５%） Ｉ３　情報分析（３５%）		
教員の実務経験	大学生を対象にトレーニングキャンプを実践しており、これまでに多くのトレーニングキャンプを実施してきました。本授業では、トレーニングキャンプについて、実務上の知見と経験を活かして、競技スポーツにおけるトレーニングキャンプの実施方法や計画・立案方法について講義します。（第15回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 ２　進行期　～　３ 発展期		
科目概要・キーワード	本授業は集中授業で、スポーツキャンプ実習Ⅰ・Ⅱでの分析結果を踏まえ、スポーツキャンプ活動を実施し、それらの反省的分析を行います。これらの活動内容は、本学部所定のスポーツキャンプ実習報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、自らスポーツキャンプを計画し、実施する能力を養います。授業形態は実習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：スポーツキャンプ、トレーニング学、コーチング学、マネジメント		
授業の趣旨	■副題 現在の課題を解決するために、キャンプを計画、実践し、その内容について分析することで、より良い方略を検討しましょう。特にキャンプを実施する際には栄養面に考慮する必要があります。栄養についてもプランニングできるようにしましょう。 ■授業の目的 本授業の目的は、学生自身が計画しマネジメントする合宿等のスポーツキャンプ活動におい		

	て、そのプランニング（安全管理等を含む）に関わる問題点について反省的分析を加えることによって、スポーツキャンプ運営に関するコーチとしてのマネジメント能力を培うことです。また、他者のスポーツキャンプ内容における課題や問題点について議論することができることも目的とします。 ■授業のポイント 実際に行われたキャンプ・合宿についてその内容を分析し、より効率的な案について様々な競技間で議論を行い、より多くの種目においてキャンプの計画を検討します。
総合到達目標	■合宿運営に関するコーチとしてのマネジメント能力を培うために、スポーツキャンプ実習Ⅰ・Ⅱで学習したスポーツキャンプ実施計画よりさらに詳細な計画立案を行い、計画内容についての議論を通じて、スポーツキャンプを実施する際の課題について反省（省察）的分析を行い、スポーツキャンプのマネジメントに求められる要素を説明し、他者（チーム全体なども含む）の競技力向上やコーチングに適用する観点や方法について説明できる能力を修得する。 ・現在のチーム、もしくは自身の課題を列挙できる（第2回～第15回） ・課題を解決するための方略を選択できる（第8回～第15回） ・環境面について配慮することができる（第1回～第15回） ・安全面について配慮することができる（第1回～第15回） ・栄養面について配慮することができる（第2回～第15回） ・自身の競技力向上に求められる要素について説明できる（第1回～第15回） ・自身のスポーツキャンプの結果を分析し、評価することができる（第3回～第15回） ・自身のスポーツキャンプの結果を分析し、反省点を列挙することができる（第3回～第15回） ・キャンプのマネジメントに求められる要素を列挙できる（第1回～第15回） ・他者の競技力向上に求められる要素について説明できる（第1回～第15回） ・他者のスポーツキャンプの結果を評価することができる（第5回～第13回）
成績評価方法	■スポーツキャンプ実習計画書　計2回（４０％）：適用ルーブリック：Ｆ１・Ｆ２・Ｉ２・Ｉ３ （評価の観点）自身の対象とした種目におけるキャンプ実習計画書の作成内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）計画書内容確認後、典型例を示しながら評価の観点について解説します。 ■スポーツキャンプ実習報告書　計1回（２０％）：適用ルーブリック：Ｆ１・Ｆ２・Ｉ２・Ｉ３ （評価の観点）自身の計画したキャンプに関する実習報告書の作成内容の評価を行います。 （フィードバックの方法）報告書内容確認後、典型例を示しながら評価の観点について解説します。 ■活動報告発表（４０％）：適用ルーブリック：Ａ２・Ｆ１・Ｆ２・Ｉ２・Ｉ３ （評価の観点）取り組んだキャンプに対し議論を通して整理された内容を発表し、その発表について評価を行います。 （フィードバックの方法）各発表後に講評を行います。
履修条件	スポーツキャンプ実習Ⅰ・Ⅱを履修していることが条件です。
履修上の注意点	本授業は集中授業です。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ　スポーツキャンプとは何か（全体テーマおよび進め方の説明） ②授業概要　スポーツキャンプ実習Ⅰ～Ⅲを踏まえ、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。その中で、スポーツキャンプとは何なのか、その現況をみながらトレーニング学的かつコーチング学的観点から説明できる。 ③予習（１２０分）　スポーツキャンプ実習Ⅱで整理した実習報告書を確認しておく。 ④復習（１２０分）　トレーニング日誌に記載している内容を振り返っておく。
2	①授業テーマ　栄養面に関するトレーニングキャンプマネジメントの基礎知識 ②授業概要　自身が実践している競技でトレーニングキャンプを行う際に求められる、環境や条件、マクロ的トレーニング計画の中での位置付け、トレーニング量や強度・頻度、特にテーパリング・ピーキング、さらには栄養管理について基礎知識を学び、自身の現状を整理する（Ｉ２・３）。 ③予習（１２０分）　トレーニング日誌に記載している内容で、今後の課題点を整理しておく。 ④復習（１２０分）　講義ノートを振り返りながら、トレーニングキャンプを実施する準備を行う。
3	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習① ②授業概要　トレーニングキャンプを実施し、報告書を作成する（Ａ２、Ｆ１・２）。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプを実施し、報告書を作成する際に必要な資

	料を準備する。 ④復習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、整理する。
4	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習② ②授業概要　トレーニングキャンプを実施し、報告書を作成する（Ａ２、Ｆ１・２）。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプを実施し、報告書を作成する際に必要な資料を準備する。 ④復習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、整理する。
5	①授業テーマ　栄養面に関するトレーニングキャンプマネジメントの基礎知識の復習、トレーニングキャンプ実習報告① ②授業概要　栄養面に関するトレーニングキャンプマネジメントの基礎知識を確認する。また、自身で実施してきたトレーニングキャンプの内容を報告書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、これまでの活動を整理し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習報告を基に、次のトレーニングキャンプを計画する際に活用できる情報を整理しておく。
6	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習報告② ②授業概要　自身で実施してきたトレーニングキャンプの内容を報告書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、これまでの活動を整理し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習報告を基に、次のトレーニングキャンプを計画する際に活用できる情報を整理しておく。
7	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習報告③ ②授業概要　自身で実施してきたトレーニングキャンプの内容を報告書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習報告書に実習内容等の記入を行い、これまでの活動を整理し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習報告を基に、次のトレーニングキャンプを計画する際に活用できる情報を整理しておく。
8	①授業テーマ　トレーニングキャンプの計画立案① ②授業概要　これまで自身や他者が行ったトレーニングキャンプ実習内容や報告書を見返しながら（反省的分析を行い）、次回のトレーニングキャンプに向けて、可能な限り具体的かつ実施可能な内容となるようにトレーニングキャンプ実習計画書を作成する（Ｆ１・２、Ｉ２・３）。 ③予習（１２０分）　これまで行った実習を振り返りながら、トレーニングキャンプ実習計画書の作成準備を行う。 ④復習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書内容の発表準備を行う。
9	①授業テーマ　トレーニングキャンプの計画立案② ②授業概要　これまで自身や他者が行ったトレーニングキャンプ実習内容や報告書を見返しながら（反省的分析を行い）、次回のトレーニングキャンプに向けて、可能な限り具体的かつ実施可能な内容となるようにトレーニングキャンプ実習計画書を作成する（Ｆ１・２、Ｉ２・３）。 ③予習（１２０分）　これまで行った実習を振り返りながら、トレーニングキャンプ実習計画書の作成準備を行う。 ④復習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書内容の発表準備を行う。
10	①授業テーマ　トレーニングキャンプの計画立案③ ②授業概要　これまで自身や他者が行ったトレーニングキャンプ実習内容や報告書を見返しながら（反省的分析を行い）、次回のトレーニングキャンプに向けて、可能な限り具体的かつ実施可能な内容となるようにトレーニングキャンプ実習計画書を作成する（Ｆ１・２、Ｉ２・３）。 ③予習（１２０分）　これまで行った実習を振り返りながら、トレーニングキャンプ実習計画書の作成準備を行う。 ④復習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書内容の発表準備を行う。
11	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習計画発表① ②授業概要　自身で検討したトレーニングキャンプの内容を、特に栄養面に考慮した内

	容となっているか確認し、計画書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書に概要を記載し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習計画を基に、活用できる内容については、自身のトレーニングキャンプ実習最終計画書に反映させていく。
12	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習計画発表② ②授業概要　自身で検討したトレーニングキャンプの内容を、特に栄養面に考慮した内容となっているか確認し、計画書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書に概要を記載し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習計画を基に、活用できる内容については、自身のトレーニングキャンプ実習最終計画書に反映させていく。
13	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習計画発表③ ②授業概要　自身で検討したトレーニングキャンプの内容を、特に栄養面に考慮した内容となっているか確認し、計画書に沿って発表する（Ａ２、Ｆ１・２）。その際、写真や動画等の視聴覚ツールを用い、具体的な発表となるように注意する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書に概要を記載し、発表準備を行う。 ④復習（１２０分）　他者のトレーニングキャンプ実習計画を基に、活用できる内容については、自身のトレーニングキャンプ実習最終計画書に反映させていく。
14	①授業テーマ　トレーニングキャンプ実習最終計画書作成、提出 ②授業概要　自身のトレーニングキャンプ実習計画書の発表時の他者からの意見や、他者が立案したトレーニングキャンプ実習計画内容を参考に、自身のスポーツにおけるトレーニングキャンプ実習最終計画書を作成し、提出する。 ③予習（１２０分）　トレーニングキャンプ実習計画書を確認し、他者の意見等を整理しておく。 ④復習（１２０分）　自身のトレーニングキャンプ実習最終計画書内容を実践できる準備を行う。
15	①授業テーマ　スポーツキャンプ実習Ⅲ（トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅲ）のまとめと今後への課題整理 ②授業概要　これまでの実習を通して提出した実習報告書と実習計画書を振り返り、他者のトレーニングキャンプ実習内容にも考えを及ぼすことができるように、反省的分析的なグループワークを行う（Ａ２、Ｆ１・２）。その結果を踏まえ、コーチなどのサポート従事者として求められるマネジメント力とは具体的に何なのか説明できるようになる（Ｆ１・２）。担当教員の実務経験を踏まえて、トレーニングキャンプの実施方法等について講義します。 ③予習（１２０分）　自身のトレーニングキャンプ実習計画書を基に他者の実習計画書と照らし合わせ検討できる準備を行う。

関連科目	スポーツキャンプ実習Ⅰ「SSCS2307」、スポーツキャンプ実習Ⅱ「SSCS2308」は、本講と密接に関係します。
教科書	指定はありません。
参考書・参考ＵＲＬ	適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	各担当者が授業時に連絡します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.